

2014 年 12 月 1 日

第 12 回「博報教育フォーラム」開催 テーマ:「体験から思考・表現へ。自分をつくる学びとは。」

博報財団(公益財団法人 博報児童教育振興会)は、「体験から思考・表現へ。自分をつくる学びとは。」を総合テーマに、「第 12 回博報教育フォーラム」を開催いたしますので、お知らせいたします。

◆ 博報教育フォーラムとは

優れた教育実践には、広く他の教育現場で新たな価値を生み出すためのエッセンスが含まれています。このフォーラムは、「博報賞」ご受賞者の活動から、教育の新しい潮流となりうる旬のテーマと優れた教育実践の事例を選び、様々な立場の参加者が共に考えを深めて意見交換する場を提供することを通して、優れた教育実践を他の実践現場へ拡大・波及させることを目的に開催しています。

◆ テーマ

「体験から思考・表現へ。自分をつくる学びとは。」
子どもが「自分」と出会う道のり、それは子どもの成長そのものといえます。
さまざまな体験から実感し、発見する。自分自身で考える。
人とのふれ合いを通して新しい自分に気づく。
このフォーラムでは、そうした、いろいろな体験から得たものを表現していくために大切なものは何か、ご参加の学校関係者、地域の方々、保護者など教育現場に関わる方々、及び教育に関心をお持ちの方々と一緒に考えたいと思います。

◆ 日時と会場

日 時	2015 年 2 月 21 日(土) 12 時 30 分～18 時 30 分
会 場	日本工業倶楽部(東京都千代田区丸の内 1-4-6)
主 催	公益財団法人 博報児童教育振興会
後 援	文部科学省
参加費	無料
参加人数	200 名

◆ プログラム

➤ 事例発表

- 岐阜県 学校法人西濃学園 西濃学園中学校
「思考や表現の土壌を育む体験を～『存在することの確かさ』を求めて～」
- 福岡県 久山町立山田小学校・久原小学校
「首羅山遺跡学習による地域を愛する心の育成」
- 京都府 京都市立御所南小学校
「各教科等で生きてはたらく読解力を活用し、探究し続ける子どもの育成」
- 秋田県 釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会
「ひまわりを核に、地域で生きていく力を」

➤ 基調講演

慶応義塾大学 教授 鹿毛雅治先生

➤ 発表者ポスターセッション

➤ パネルディスカッション・グループセッション

コーディネイター 文教大学大学院 教育学研究科長 嶋野道弘先生
パネリスト 慶応義塾大学 教授 鹿毛雅治先生
事例発表者代表4名

- ◆ 申し込み方法 当財団 HP「お問い合わせページ」より、Eメール送信
申し込み用紙に記入し、FAX または郵送

- ◆ 申し込み締め切り 定員に達し次第締め切り

博報財団(正式名称:公益財団法人博報児童教育振興会)は、1970年に設立された財団法人博報児童教育振興会を母体として公益認定され、2011年4月に公益財団法人としてスタートしました。
次代を担う子どもたちの豊かな人間性の育成のために、児童教育の実践者を顕彰する「博報賞」をはじめ、「児童教育実践についての研究助成事業」「日本語海外研究者招聘事業」「世界のこども日本語ネットワーク推進」など、「ことば」「文化」の領域を中心に児童教育の支援につながる活動を行っています。

◇ 公式ホームページ <http://www.hakuhodo.co.jp/foundation/> ◇

■ 本件に関するお問い合わせ先:

公益財団法人 博報児童教育振興会
TEL. 03-5570-5008 / FAX. 03-5570-5016
E-mail. hakuho.foundation@hakuhodo.co.jp